

議会報告会のお知らせ

今議会終了から、我々議員は市民に開かれた議会運営を目指すため、市内4ヶ所にて4班に分れて議会報告会を実施いたします。

時間は19時から21時までです。

内容は議会基本条例制定に向けての動き、議会活動報告、質疑応答などを実施いたします。

11月12日(金)は松原公民館で開催します。

是非、皆様も参加していただき議会や行政に対する忌憚のないご意見や要望などお聞かせ下さい。

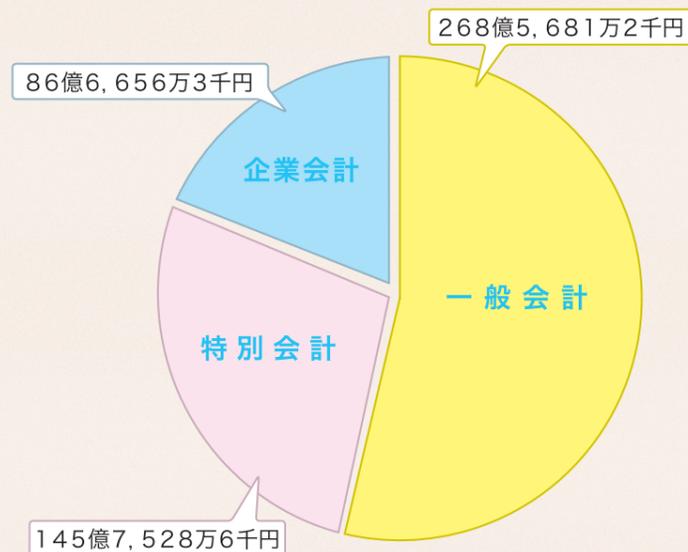
平成22年第4回(12月)敦賀市議会定例会会期日程

日 程	会議の種類	内 容
11月30日(火)	本会議	開会、市長提案理由説明、議案説明、質疑、委員会付託
12月 1日(水)	委員会	予算決算常任委員会
7日(火)	本会議	一般質問
8日(水)	本会議	一般質問
9日(木)	本会議	一般質問
10日(金)	委員会	総務民生常任委員会、産経建設常任委員会、文教厚生常任委員会
13日(月)	委員会	環境保全対策特別委員会、原子力発電所特別委員会
14日(火)	委員会	予算決算常任委員会
17日(金)	本会議	委員長報告～採決、特別委員会中間報告、閉会

平成22年第3回敦賀市議会審議結果一覧

今議会では、20の議案がそれぞれ、可決、継続審議、同意されました。

補正後の予算は、



合計 500億9,866万1千円となりました。

担当の委員会(21年～22年)

原子力発電所特別委員会 委員長
文教厚生常任委員会 副委員長
敦賀駅周辺整備調査特別委員会 副委員長
広報委員会 副委員長

これまでの主な参加行事(7月～9月)

- 7月 5日 福井県原子力立地協議会理事会(高浜町)
- 7月16日 福井県原電所在地議会特別委員会連絡協議会定期総会(敦賀市)
- 17日 柳川区ふるさとまつり
- 18日 第15回敦賀港カッターレース参加
- 20日 松原・中央小冷暖房設置調査視察
- 21日 全国大会壮行式
- 23日 第6次総合計画基本構想説明会
- 24日 松原地区夏祭り(松陵中校庭)
- 31日 教育講演会(プラザ萬象)
- 8月 2日 笙の川河川整備計画説明会
- 3日 広報委員会
- 19日 敦賀駅周辺整備特別委員会
- 20日 原子力発電所特別委員会
- 21日 市民野球フェスティバル
- 25日 市小学校陸上記録会
- 30日 原子力発電所特別委員会
- 31日 第6次総合計画基本構想説明会
- 9月 4日 つるが祭り夕べの集い
- 6日 9月議会開会
- 11日 松原小学校体育大会

2010年 9月議会

まぶら清和 議会報告書

- 目指します!
- 活気あるまちづくり。
 - 住んでよかったまちづくり。
 - 来てみてよかったまちづくり。

ご挨拶

朝夕の寒気が身にしみるころとなりましたが、いかがお過ごしでしょうか。さて、今年の夏は今までにない猛暑続きで、体調を崩された方も多かったのではないのでしょうか。気が付けば、今年もあと数ヶ月となり、時の過ぎ行く速さを実感する今日この頃でございます。今年9月の議会でも20の議案が議決され事業が実施されますが、残された課題も多くあります。今後も皆様のご意見などを踏まえ、しっかりと審議してまいりたいと思います。それでは、これより議会の報告をさせていただきます。

お知らせ

ホームページを開設いたしました。 <http://mabu.jp> E-mail: info@mabu.jp

発行責任者 新政会
編集責任者 馬淵清和

この議会報告書は政務調査費で作成しております。

平成22年第3回(9月)一般質問

9月議会の一般質問は、「情報公開・説明責任・費用対効果」を大項目に3点の質問をしました。内容は、下記の通りです。

① 敦賀市の税と料の収納状況と未収金の徴収体制について

趣旨 景気の低迷により全国的に増加の一途を辿る未収金の徴収問題は、困難を極めています。当市においても収納状況や徴収体制の現状を今一度分析し、収納率向上に向けての対策を実施することが必要と考える。

わたしからの質問
過去3年の市の税と料の収納状況と徴収体制は？

答弁
収納状況は、個人市民税は、平成19年度96.2%、平成20年度96.4%、平成21年度96.5%(国民健康保険税・介護保険料・保育料・住宅使用料・上水道使用料も同様の答弁)で、早期未納者対策として各課徴収嘱託員の兼務をかけている。電話勧奨業務の委託を行っている。福井県地方税滞納整理機構へ参加し、これにより県、参加2町と協力して滞納整理を推進している。

わたしの提案
収納率を向上させる為に以前のように収納課を立ち上げ、徴収員も全て嘱託職員として収納業務の一元的に取り扱う課を新設すべきでは？

答弁
現在、滞納削減プロジェクトチームをつくり研究しているところである。先進地における取組状況の確認等も行っている。収納業務の一元化については、税と料金の法律上の問題など様々な課題があり、以前の状況を超えるシステム、組織にしないと理解が得られないため、もう少し、しっかりと考えていきたい。

わたしの考え
徴収業務は、自主財源を確保するという大変大事な職務です。直接面談して話し合いをすることです。そして、粘り強い折衝が収納率向上の近道です。

② 市立敦賀病院の医師・看護師確保と改善点

趣旨 「医師、看護師不足」ばかり声高に言っていますが、それをいう前に、まず医師・看護師が進んで働きたくなる様な病院を構築しなければなりません。即ち医師・看護師が安心して働ける環境整備の充実に力を入れることが大前提と考えます。そして、経営状況の分析を行い、改善できることは早期に実施すべきと考える。

わたしからの質問
市長は、事業管理者として医師と病院の問題点や改善点などを積極的に聞いて頂くよう、要望しましたがどの様な問題が出されたか？

答弁
やはり、医師が勤務しやすい環境を整えることである。医師が一堂に集まったの話し合いというものはないが、院長・事務局長を通じて、医師の環境づくりは常に行っているところである。そういう中では、今の病院の現状や課題というものもある。まずは何としてでも医師不足を解消したいと考えている。

わたしからの提案
近況の市立病院の経営状況を分析する限り、まず地方公営企業法を全部適用にして事業管理者の権限と責任で人事権、予算権の執行をするという形態にすべきでは？

答弁
やはり、議会の中でいろんな意見が出ており、地域住民の生命、身体を守るのが病院である。公立病院は、地域の医療を担う、人の命を助ける意味において役割があると考え。敦賀病院は、不採算部門を切り捨てるわけにはいかず、地域全体の病院ということをぜひ理解をいただき、温かく見守り育てていただきたい。

わたしの考え
現状の運営方法では、採算が取れないことが明白なので運営形態を改善することを提案しています。改善(全適)により、何がどう変わり、また経費の削減にどう繋がるか費用対効果の検証も容易となります。よって、この問題は、今後、最重要課題と考えます。

③ 市立看護専門学校と助産師学科新設、そして敦賀短期大学の今後

趣旨 「看護専門学校を短期大学に移転、そして助産師学科を中心とした公立大学を目指す」と方向性を述べられた。しかし、多くの問題が混在する中、再検討すべきと考える。

わたしからの質問
看護専門学校を移転する理由は？

答弁
1点目は、市道中央沓見線の拡幅による影響。2点目は、耐震補強の必要性。3点目は、土地の賃借料の問題。看護専門学校の敷地は借地のため毎年多額の賃借料が発生している。

わたしからの質問
市立病院では、産科医師1人に対して助産師何名必要ですか？また、現在何名不足しており補充の見通しは？

答弁
敦賀市では現在、3人の産科医が在籍している。助産師の業務拡大や産科医師の負担軽減を考慮すると、勤務できる助産師が15人必要であると考えているが、現在は13名である。現在、正規採用の助産師2名を募集、そして、本年度、敦賀病院の看護師1名が助産師資格を取得するために助産師学校へ修学をしている。

わたしからの質問
公立大学にした場合の開校予定、学科、学生定員、教授等教員数と人件費は？また、年間に掛かる財政負担は？

答弁
事業費は、現在、設立準備委員会で検討中である。学科は看護学科で、定員は50名。施設整備費は、実施設計を行って試算したい。教員は、あくまでも最低であるが、短期大学とした場合23名。協議会の中では四大という意見も出ており、四大にした場合は26名という試算をしている。人件費については今試算中である。

わたしの考え
委員会等では、スケジュールの問題や混在時期の問題、教授等確保の問題など多くの難題を抱えています。私は、市内の病院等の看護師確保の手段として、従来通り市立敦賀病院と連携されている市立看護専門学校として運営すべきと考えます。また、助産師学科を新設しなくても、市内の産科病院では、助産師確保の対策をすでに実行されています。そして、公立大学になった場合の運営費が、今まで以上に負担が増えることが予想されます。よって短大施設は、これから原子力に携わる人材育成の学校として活用すべきです。そして、国や県の補助は勿論、電力会社やプラントメーカーが主軸となって運営等協力を頂き、嶺南の子ども達が優先的に企業等に就職できる学校を目指すべきです。

編集後記

現在敦賀市では、様々な事業が展開されていますが、今一度足を止めて継続拡大の事業、見直す事業はないか、事業の内容を精査する時期に来ているように感じます。このまま改善をせずに、問題を先送りすると後世に大きなツケが回ってきます。いずれ、当市も財政が逼迫することが予想されるので、今から準備する必要があります。その点をしっかり踏まえながら、今後も皆様からのご意見等拝聴させていただき議員活動に取り組む所存でございます。

最後になりますが、これからの季節、朝夕冷えてまいりますので、体調に十分お気をつけてお過ごし下さい。